

はじめに 中西進 4

総論 和歌と絵画 井上さやか 6

第一章 歌の彩り 11

朱雀色すざくの明日香 12

夢に身をゆだねる 16

夜桜の艶 20

死のけはい 24

紅の交響 28

黄金のタペストリー 32

青い夜霧 36

重い心の色あい 40

雪の光ゆきのかげの貴さ 44

Column 「いろ」 井上さやか 48

第二章 心の模様 51

山の雲、瀬の響き 52

蓮の花に託した恋 56

月の船という幻想 60

月を囲む風の渦 64

水の女の幻想 68

望郷幻想 72

富士山をモザイクする 76

檜隈の牧歌 80

空に消える孤愁 84

Column 「あや」 井上さやか 88

第三章 時の移ろい 91

永遠の吉野 92

魂の構図 96

悲しみと美しさと 100

月の出まで 104

火焰くわんに包まれる白い魂 108

縹渺ひょうびょうの響き 112

時の香り 人の香り 116

海神の祀り 120

命を永遠にする 124

Column 「とき」 井上さやか 128

画題・画家紹介 130

おわりに 井上さやか 132